

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：私立学校振興費

事業名 私立学校等スクールバス利用料支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 私学振興・青少年課 私学助成係 電話番号：058-272-1111(内3032)

E-mail：c11151@pref.gifu.lg.jp

1 補正要求額 10,433 千円 (現計予算額： 2,857 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	2,857	2,857	0	0	0	0	0	0	0
補 正 予算額	10,433	0	0	0	0	0	0	0	10,433
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 令和4年度に、物価高騰に直面する私立学校に子どもが通う世帯を支援するため、燃料価格高騰によるスクールバス利用料の引上げ相当額について、学校法人に補助を行った。
- 令和5年度においても、燃料価格の高騰が続いており、学校法人への調査を行ったところ、スクールバス利用料の引上げを実施している施設があるため、保護者負担増を抑制することを目的に、学校法人に支援する。
- 燃料価格の高騰が続いているため、令和5年10月から令和6年3月の期間も支援する。

(2) 事業内容

私立学校設置学校法人に対して、利用者数に下記の単価を乗じた額を交付

- ・幼稚園、小・中・高等学校、専修・各種学校：150円

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10負担

(一部新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	10,433	私立学校スクールバス利用料支援交付金
合計	10,433	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「第3次岐阜県教育ビジョン」における政策の目的
- 3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
- 19 私立学校教育の振興
 - ・岐阜県の教育における私立学校が果たす役割の重要性に鑑み、私立学校運営の安定と教育条件の維持向上を図るため、引き続き私学助成の推進に努めます。

(2) 国・他県の状況

- ・国は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の推奨事業メニューにエネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援を掲げている。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

私立学校助成事務は県の事務であり妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 スクールバス利用児童生徒のスクールバス燃料費増額分の負担を軽減（単年度）

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

交付金の交付であり、設定困難

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価) 燃料価格は大幅に増加しており、必要

3

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】